

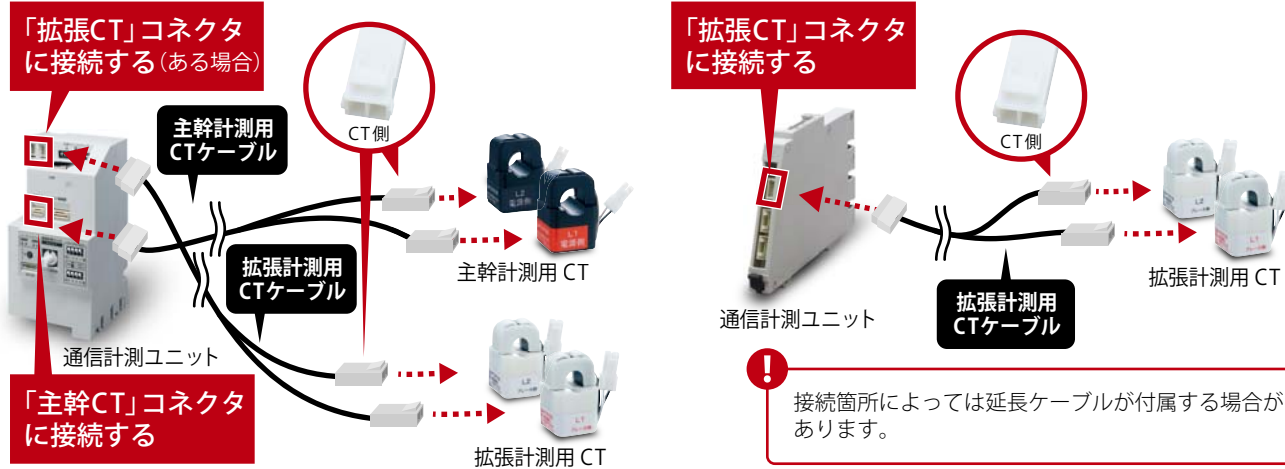
掲載内容の詳細は別冊『enステーションEcoEye 設計・施工ガイドブック』をご覧ください。またこの施工順は例です。安全かつ正しく施工をしてください。

1 配線・接続する (配置と使用ケーブルは右図でご確認ください)

・通信計測ユニットへのCT接続

・拡張計測ユニットへのCTの接続

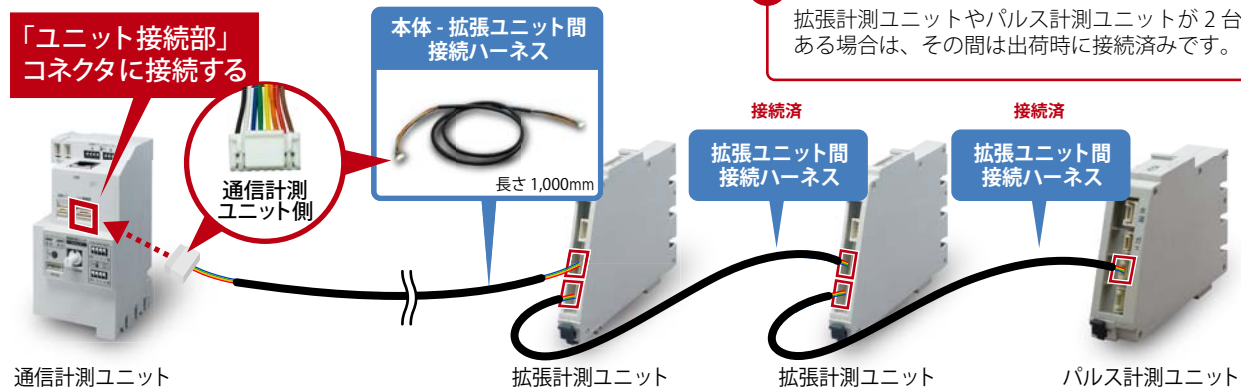
1-1



接続箇所によっては延長ケーブルが付属する場合があります。

1-2

・通信計測ユニットと拡張計測ユニットの接続

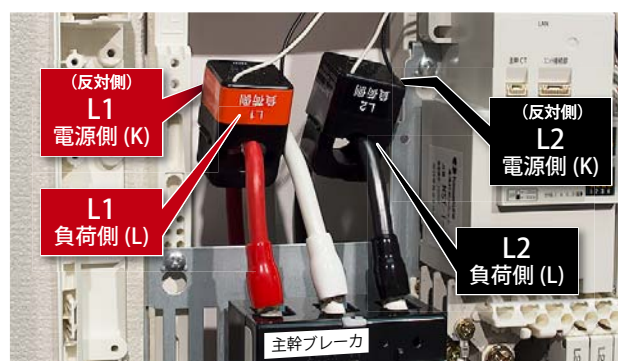


拡張計測ユニットやパルス計測ユニットが2台以上ある場合は、その間には出荷時に接続済みです。

2 計測用CTを取り付ける

・主幹用は黒をL1とL2に取り付ける。(必須)

・拡張用は白をL1に取り付ける。(必要箇所)



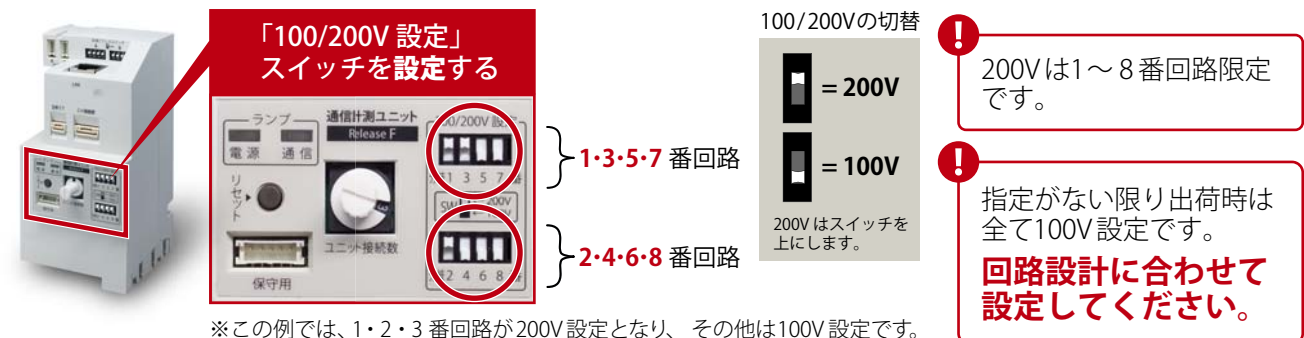
※ 機器によってはL2にも取り付けます。

取り付ける向きを間違えないでください。
 CTの底面にある「K」が1次側、「L」が2次側になるように取り付けてください。間違えると正しく計測ができません。
 ※ 実際の施工時の向きに合わせてCTのイラストを上下逆さまにしています。



3 通信計測ユニットを設定する

・200V 回路の搭載位置をスイッチで設定する。



200Vは1～8番回路限定です。
 指定がない限り出荷時は全て100V設定です。
回路設計に合わせて設定してください。

4 負荷名称を記入する

・EcoEye 本体の『負荷名称シート』と同じ内容を別紙『お客さまシート (『施工チェックリスト』の裏面)』に記入する。

負荷名称や計測対象は **必ず記入してください。**
 HEMSサービス会社様によってはお客様自身に負荷名称の登録を依頼される場合もあり、記載がないと計測結果が正常に反映できなくなります。記入した『お客さまシート』は必ずお客さまへお渡しください。

